

感染症専門医コース < Nagasaki ID Fellowship >

内科認定医、内科専門医、基本領域学会※専門医を取得した感染症専門医希望者向けの3年間コース

長崎大学病院、協力医療機関、行政機関での総合的な感染症研修による日本感染症学会認定感染症専門医のみならず、今後予定される専門医機構の感染症専門医の資格取得も可能とするカリキュラム(JAID-J-Osler導入予定)

☑ 感染症医として必要な6つのコンピテンシーを身に付けるカリキュラム

- 1) Professionalism (プロとしての責任感、態度、倫理観)
- 2) Patient Care and Procedural skills (患者ケアと治療手技)
- 3) Medical Knowledge (適切な医学知識)
- 4) Practice-based Learning and Improvement (自己研鑽、自己学習による自己改善)
- 5) Interpersonal and Communication Skills (対人関係、コミュニケーション能力)
- 6) System-based Practice (医療システムに基づいた医療実践)

☑ 研修終了時到達目標

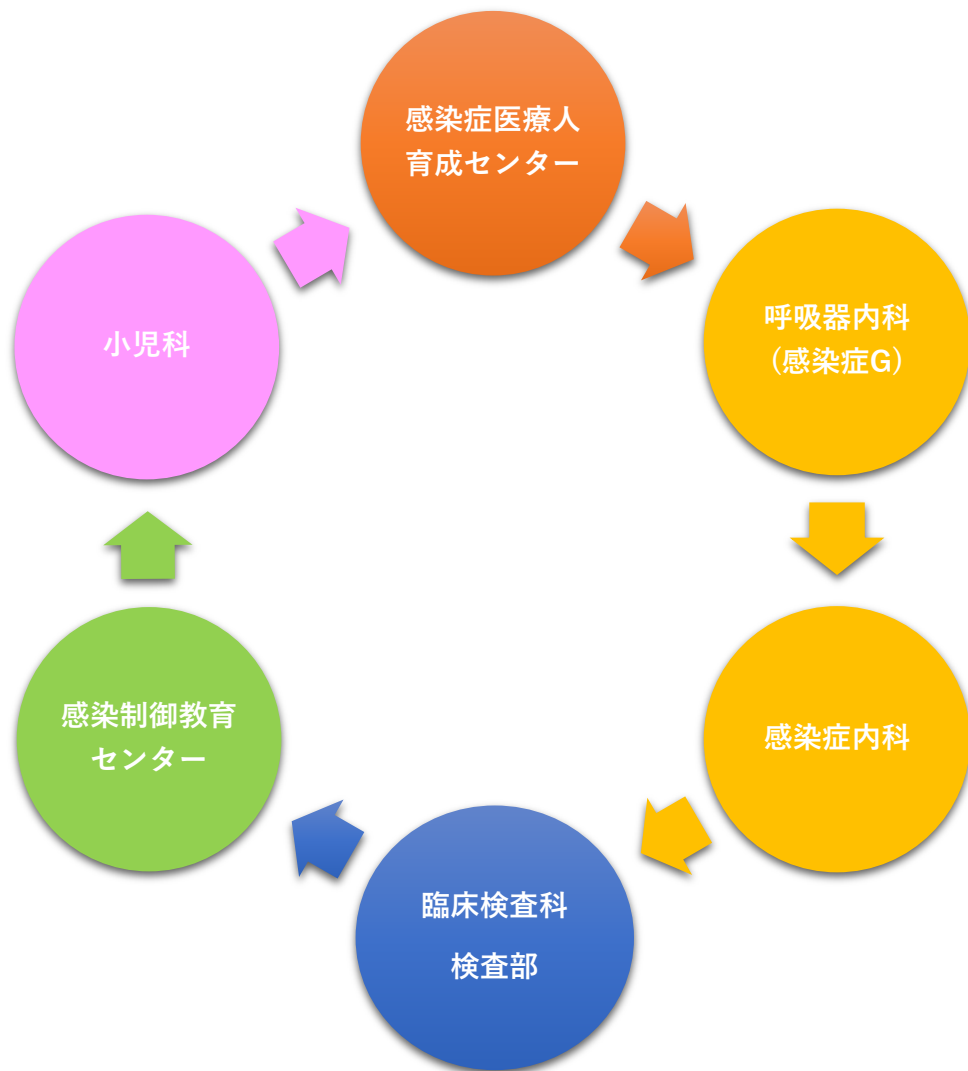
- 1) 感染症専門医受験資格の取得
- 2) 感染症医として市中病院で自立して診療活動できる
- 3) 感染症医として臨床、研究、教育のアカデミックキャリアを開始できる
- 4) 感染症関連の国際医療協力、公衆衛生・保健行政などの分野で専門医として活動を開始できる

※基本領域学会

日本医学放射線学会、日本眼科学会、日本救急医学会、日本外科学会、日本産科婦人科学会、日本小児科学会、日本耳鼻咽喉科学会、日本整形外科学会、日本精神神経学会、日本内科学会、日本脳神経外科学会、日本泌尿器科学会、日本皮膚科学会、日本病理学会、日本麻酔科学会、日本リハビリテーション学会、日本臨床検査医学会 (2021年5月現在)

感染症専門医コース 1年目

長崎大学病院でのローテーション研修



感染症医療人育成センター

1週

感染症研修を始めるにあたってのイントロダクション

呼吸器内科(感染症G)

感染症内科

36週

ベッドサイド、外来、コンサルト診療を通しての感染症臨床研修

- ・市中感染症(髄膜炎、肺炎、心内膜炎、腹腔内感染症、胆道感染症、生殖泌尿器感染症、皮膚軟部組織感染症、リケッチア感染症、ウイルス感染症など)
- ・院内感染症(肺炎、尿路感染症、デバイス関連、CDIなど)
- ・敗血症
- ・移植関連感染症(固形臓器、造血幹細胞)
- ・免疫不全関連感染症
- ・抗酸菌、真菌感染症、重症呼吸器感染症
- ・HIV/AIDS
- ・性行為関連感染症
- ・熱帯感染症、トラベルクリニック

臨床検査科・検査部

4週

臨床微生物学、臨床検査医学を学ぶ

- ・細菌、真菌、抗酸菌の染色、鏡検、分離同定、薬剤感受性試験・その解釈、分子生物学的診断法の理解並びに実践

感染制御教育センター

8週

感染制御学、ICT/AST活動を学ぶ

- ・移植関連感染症(固形臓器、造血幹細胞)
- ・ICU症例の重症感染症診療
- ・各医療機関、行政との連携、他医療機関医療従事者への教育
- ・COVID-19対策

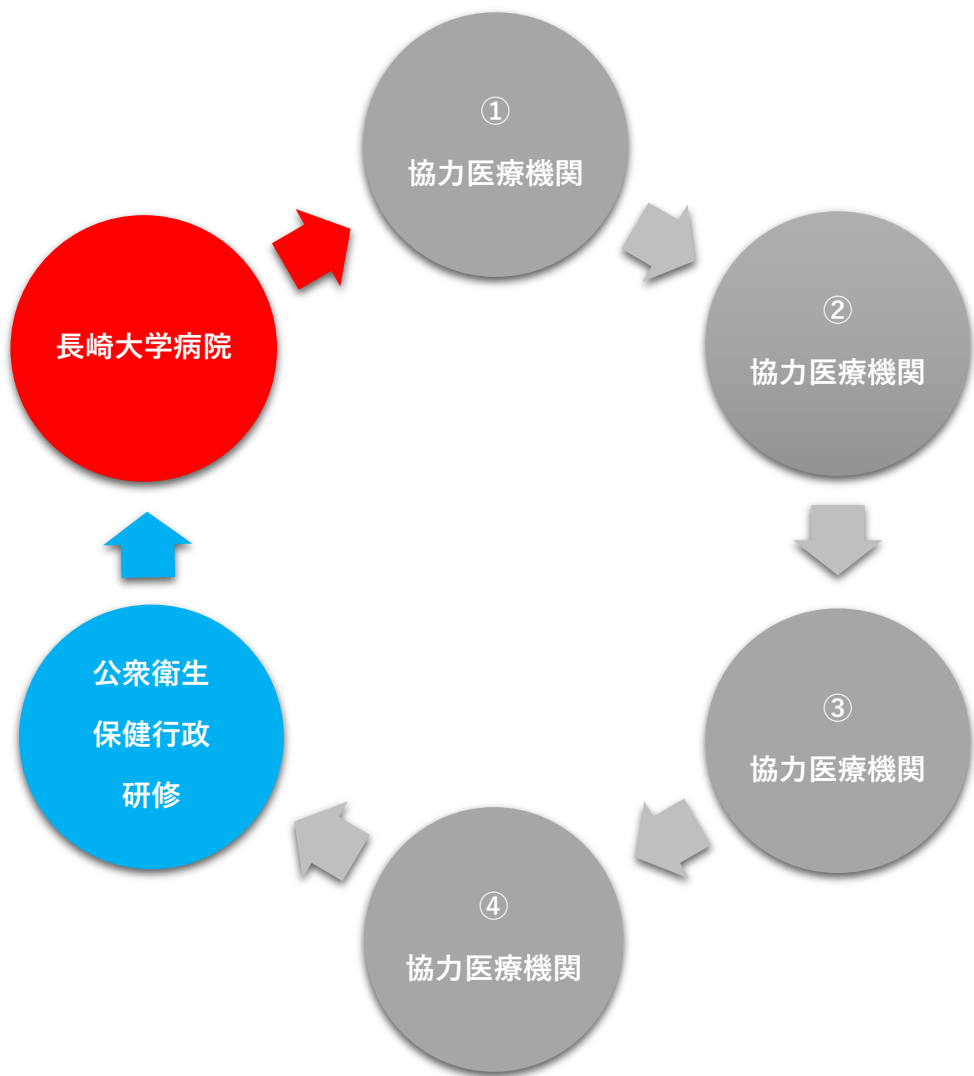
小児科

1週

Case studyにより非小児科医として習得すべき小児感染症を学ぶ

感染症専門医コース 2年目

協力医療機関、公衆衛生・保健行政、長崎大学病院でのローテーション研修



①協力医療機関 4週

大都市圏での感染症研修
国際医療研究センター or 聖路加国際病院

②協力医療機関 4週

HIV専門研修
名古屋医療センター

③協力医療機関 4週

結核・抗酸菌研修
長崎原爆諫早病院

④協力医療機関 4週

熱帯感染症研修
サンラザロ病院（フィリピン マニラ市）

*サンラザロ病院での研修は国際情勢、感染症流行状況により困難な場合は他の方法(座学中心)で熱帯感染症を研修する。

公衆衛生・保健行政 研修 4週

感染症に関わる施策、公衆衛生対策、保健行政を学ぶ
長崎県庁・保健所

長崎大学病院 30週

さらなる臨床修練
呼吸器内科(感染症G)・感染症内科・臨床検査科・感染制御教育センター

感染症専門医コース 3年目

長崎大学病院での選択研修（臨床・研究）

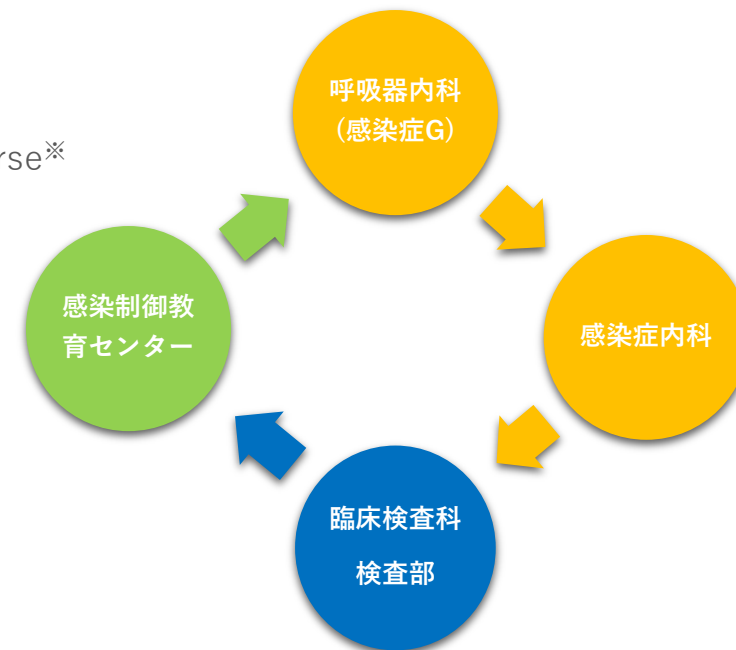
希望に応じた選択が可能

- ・ローテーション臨床研修
- ・各診療科、診療部門の指導医のもとで研究
- ・熱帯医学・途上国医療を学ぶために、Nagasaki Diploma in Tropical Medicine and Hygiene course*（3か月コース）への参加も可能

* Nagasaki Diploma in Tropical Medicine and Hygiene course (<http://www.tmgh.nagasaki-u.ac.jp/dtmh?lang=en>)は別途授業料が必要

研修終了後のキャリア計画

感染症医療人育成センターによるサポート



- ✓ 3年間を通して症例検討会、Journal Club、セミナーなども開催し知識を深める。
- ✓ 学会報告、論文作成も積極的に行い、専門医受験資格を得るのみならず、学術研究の基礎形成を行う。
- ✓ 感染症学会認定専門医や専門医機構認定感染症専門医の受験資格を満たすために、適宜、研修カリキュラム内容の検討、改訂を行う。